金城学院大学　シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37940001
授業科目名(Course name)	ピアノ教室レッスン実習		
担当者(Instructors)	飯田 真樹		
開設学部学科(Department)	文学部　音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	263
開講クラス(Class)	音３	開講形態 (Course format)	実験・実習
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 日付不定型	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))	45,000	履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	

他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)

■授業の概要(Course outline)

地域の著名なピアノ教室に将来ピアノ指導者を目指す学生を教育実習生として派遣する。実習生は原則１日４時間の実習を８日間行う。実習に先立ちピアノ指導者としての心構え、ピアノレッスン教室の様子、実習に伴う様々な注意事項について実習手引きを使用しながら事前指導を徹底する。実習の具体的内容は実習前半の６日間は実習指導教師のレッスンを見学させていただき、ベテラン指導者のノウハウを学ぶ。また同時にレッスンで使用される楽譜やテキストなどの教材についても見識を深める。実習後半の２日間は学生が指導教官の下で実際にレッスンを担当させていただき実体験を通して更に指導力を高める。

■到達目標(Course goals)

現場での実習を通してピアノ教師として卒業後すぐに活動出来る為のスキルを身につけている。

■履修上の留意点(Important points)

将来ピアノ教師を志す学生

■学位授与方針 (Diploma policy)

１．知識・理解

音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。 ◎

２．汎用的技能

日本語や英語で多様な人々とコミュニケーションを行うとともに、音楽演奏を通じて様々な楽想を適切に表現し伝えることができる。 ◎

音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。 ◎

■授業計画(Lesson plan)

1. それぞれのピアノ教室の個性や魅力や置かれている立場などを説明する。
   ピアノ教室で使われている教材は教室ごとに異なっている。そこで使われている主な教材についての知識を高め実際の使用にあたっての要点を教える。
   学生を教師と生徒に見立てて模擬レッスンを行い担当教師が気付いた点を指導する。
2. ピアノ教室で使われている教材は教室ごとに異なっている。そこで使われている主な教材についての知識を高め実際の使用にあたっての要点を教える。
3. 学生を教師と生徒に見立てて模擬レッスンを行い担当教師が気付いた点を指導する。
4. 実習先の受け入れ状況などにより学生個別の実習期間を定める。教員も随時実習先に出向き実習の様子をチェックする。また指導教師とも連携を密にする。

5. 実習生全員が実習終了後に事後の授業の中で実習について振り返り、報告会を行う。それを担当教師が聞いて感想や反省点を述べて全員で課題に対する問題意識を共有する。

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

実習生受け入れ先の教室を訪問し担当指導教官と面談をして問題点を検証する。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

実習で使用するテキスト、楽譜を事前に十分に研究し、必要に応じて演奏できるように練習させておく。また実習につようするテキスト、楽譜以外の関連する教材にできるだけ多くの知識を蓄えてあらゆるレッスン状況に迅速に対応できるよう備えさせる。またレッスンでは初見演奏の能力が必要なので平素から初見力を養うよう指導する。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

事前指導において全員に実習の手引きおよび実習ノートを配布する。

■評価方法(Evaluation method)

授業内における事前事後の指導の理解度　30%

実習先の指導教師による評価　50%

実習ノートの評価　20%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

kメールにて回答